

目標の設定及び達成に向けた考え方について(区作成)

【此花区】(受託者等:一般財団法人 大阪市コミュニティ協会)

区の考え方等	
1 地域課題・ニーズ等の状況について	<p>地域の住民相互の「つながり」や「きずな」は大切であると感じている人は多いが、実際に地域活動に参加している人は少ない。担い手の高齢化や若年層・新住民の参画が難しい。地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている区民の割合が低い。</p> <p>地域活動は、地域活動団体の役員によって担われており、新たな担い手が不足している状況である。50歳代は職業生活の最盛期であり、60歳代は年金受給年齢の引上げに伴い稼働年齢層となっていることから、地域活動の専任的な担い手となるのは困難な状況が今後も続く。</p>
2 当事業によりめざす状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が、自分たちの住むまちの課題を具体的に把握し、解決に向けた取組を行っている状態。</li> <li>・新たな担い手が、地域課題について、自分のできることをできる範囲で取り組み、地域実情に合わせた解決が図られている状態。</li> </ul>
3 当事業の目標	
(1) 中長期の目標	<p>地域の活性化をはかるため、区役所職員もより地域にかかわることで地域課題の発見と解決策の検討を進める。</p> <p>【現在の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たに地域担当になった職員を対象に地域活動協議会の説明のための研修を行った。</li> <li>・地域担当職員、市民協働課職員、このはなマチセン(このはな支援事業所)と定期的に意見交換を実施した。</li> </ul> <p>地域活動の担い手を確保するために、幅広い年齢層が地域活動に参画できるようなルール作りの支援や、ICT等を活用し、やる気と能力のある新たな担い手確保への支援を進める。</p> <p>【現在の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に実施したボランティア交流会での見学会をヒントに4月から事業内容変更した地域がでてきており、事業実施状況を見守っている。今年度もこのはなマチセン(このはな支援事業所)と区社協と連携し、ボランティア合同交流会を実施した。</li> <li>・1月末までに3地域で新たにSNSを立ち上げた。また、1地域のSNS立ち上げ支援中である。</li> </ul>
(2) 令和元年度目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動協議会の活動支援</li> <li>・区役所内横断的な地域担当チーム職員への支援</li> <li>・地域における課題解決のためコーディネート等について支援</li> </ul>
4 地域活動協議会の状況についての分析	<p>上記2・3の【現在の状況】及び評価資料等を踏まえ分析</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織運営については一定軌道に乗っており、地域課題解決策の検討やそのための事業の企画・改善の話し合いについては、地域較差はあるものの一定進んでいる地域もある。</li> <li>・一方、どの地域からも共通の課題として、担い手不足の問題が提起されている。地域役員の高齢化や活動の中心を担っている町会の後継者不足が深刻な課題となっており、地域活動の継続と発展のためには、新たな人材の確保と、幅広い年齢層が参画できる仕組みづくりが重要となっている。</li> <li>・地域担当制を充実させたことにより、地域の役員から地域担当に相談を持ち掛けられることもあり、新規事業の相談等をこのはなマチセン(このはな支援事業所)と連携して支援している。</li> <li>・SNSによる広報活動への働きかけを行ってきたことにより、新たにSNSを立ち上げる地域が4地域でてきている。</li> <li>・地域の世代間交流のためのイベントをリニューアルする動きや、新たな広報誌づくりを行う動きなどもあり、地域の特性に応じた支援が今後も必要となる</li> </ul>
5 当事業による支援の方針	<p>これまでの地域活動をベースに、地域カルテを活用しながら、地域住民が地域の課題を具体的に把握し、解決に向けた取組を行っていきけるよう支援していく。</p>
6 目標達成に向けた戦略	<p>受託者のノウハウ・経験を活かして、区役所とともに地域課題の解決・人材の育成に向けた事業を進める。</p>